

海外LPガス情報の紹介

(No. 138 平成18年11月号)

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目19-5
虎ノ門一丁目森ビル

(電話: 03-3507-0041 Fax: 03-3507-0048)

E-mail: info@lpgc.or.jp

HP URL: <http://www.lpgc.or.jp>

(「海外LPガス情報の紹介」のバックナンバーも掲載)

① 《各市場のトピックス》

(1)カーゴ・トレードの流れ

中東(11月市況): サウジのスポット・プロパンカーゴは欧州、米ガルフ及びメキシコのスエズ以西に流れた。環大西洋地域の商流は、アルジェリアが引き続き米ガルフに向ったが、西アフリカのカーゴは概ね10月、11月はネットバックがベターな欧州に向かうこととなり、地中海地域が殆どの仕向地となった。北海玉は殆どが北西欧内でトレードされ(米東岸に向けられたカーゴもあったが)たが、1カーゴはトルコに仕向けられた。

2006全般のLPGトレード: 現在の世界のLPG取引量の推定値を試算すると、合計約5,600万トンと2006年は前年比約130万トン増加した。これらの比較的穏やかな増加は中東カーゴ(イランのアサルイエ及びカタールのラスラファン)が貢献していると思われる。サウジアラビアとアルジェリアは微減となり、ベネズエラが微増となった。

(2) アジア大洋州・中東・中央アジア地域

1. 中国:

中国のLPG市場は今年国内製油所出しの増産分LPGを引き続き吸収した結果LPGの輸

入需要は減殺された。中国最大規模のLPG輸入業者は、4カ所に受け入れターミナルを保有し、2006年を通してそれらの基地でこうした製油所LPGを40万トンを引き取る予定である。LPG輸入業者は最近の輸入量のスランプを製油所出しLPGのせいにしており、同時に重要な要素となっているのがLPGの国内需要の伸びの不足である。報道によると中国のLPG消費量は実際問題年初からの3四半期において前年同期比減少を示した。記録が開始されて以来前年対比で需要が減少したのは初めてのことである。

しかしながら、さる筋によると製油所出しLPGの供給量は最近において少し低く見積もられており、LPG需要状況は推定されている程そんなには弱くないとのコメントもある

中国南部の珠海に立地するBP社のLPG岩盤貯蔵基地の操業開始は「建設上の問題」で今年末まであるいはさらに遅延となっている。こうした問題によって貯蔵庫の経費が当初の見積の\$5,000万から\$8,000万に増加した。しかしながらBPは既に珠海向け1月入着のLPG輸入カーゴの落札を発表した。

東部においては、Jiangsu省のZhangjiangにあるZOUPEC基地は揚子江の北岸に対峙するJinjiangに立地するPetroChina Jiangsu Changjiangの新たなLPG基地との競争激化に直面することになる。

この基地は5月に2万トンの高圧LPGタンクで開始され、11月後半に1万トンの完全冷凍プロパンタンクも拡張される予定である。投資額は\$3,600万と報じられている。Jiangsu省には大規模な工業用市場があり、輸入LPGの主要な販売先と見られている。しかしながら天然ガスがこれらの市場の競争相手となっている。

2. インドネシア:

プルタミナ社はTanjung Ubanの冷凍貯蔵庫を国内LPG市場向けの供給拠点として再活用することを決定した。Jabungから1カーゴが搬入された。加えて同社はジャカルタ向けに手当するために7-8,000トンの小ロットの高圧カーゴを物色している。同社は政府によってCP+固定マージンベースでこれらの買付分を手当されるだろう。

BelanakのLPGの操業開始は来年2-3月まで遅延となっている。LPG生産量は当初の12-18ヶ月間は、年産20-25万規模となり、その後年産50万トン水準に拡大する見通しである。

2. **サウジアラビア:** サウジアラムコ社は11月積みでスポット・プロパンカーゴを20-25万トン程度販売した模様で、12月初旬にもプロパン1カーゴを予定している。12月のスポット・プロパン販売予定量は定かではない。サウジの原油減産の影響を受けることになる。ブタン供給は引き続きタイトであった。サウジアラムコ社は10月度のブタンの長期契約カーゴ積みに関し10%のアローアンス条項を削除した。

(3) 欧州アフリカ地域

1. **アルジェリア:** ソナトラック社の最近のLPG輸出量は増加傾向を示しており(10月は70万トンを超えた)、これは南部からのガス液の供給が増加したためであろうと推測される。11月後半積みのLGC船ロットのプロパンカーゴの入札をおこない、Total社がNWE向けに落札した。

ソナトラック社は6隻の中型船及び半冷凍船を2007年の地中海向けトレーディング用に定期用船した。傭船レートは2006年と大差ないようである。

2. **チュニジア:** 英国本拠のPetrofac社はチュニジアでの上流開発に積極的であるが、Hasdrubal

ガス処理&LPG プラントを Sfax 近くに建設する総額 4 億ドルのフルターンキー契約を落札した。完成は 2009 年の予定。

(4)北米・中南米地域

《北米》

1. 原油:

原油価格(WTI)は12月に入り、ニューヨーク商業取引所(NYMEX)原油先物相場に於いて、12月8日には62.03ドルで取引を終えた。14日のOPECの総会での追加減産が実施される見方が支配し、北米東海岸が今冬一番の寒さを記録したこともある。

11月1日に在庫増加と需要減退を理由にOPECは減産を宣言した。実際に減産はなされており、EIAの年内の推定では11月と12月で80万バレルの削減としていた。また、価格は上記OPECの減産と暖房需要の増加に備えた在庫の減少で、11月のバレル59ドルから冬期間は60ドル中頃まで上昇すると見込んでいる。

同機関が今月12日に発表した2007年の短期見通しによれば、OPEC加盟国の現在の原油生産は日量50万バレル程今年の年間平均生産量に比べ減少しており、2007年は年間を通じ、増産の必要があるとしている。背景にはEIAは2007年の世界需要は日量150万バレル増加する一方、OPEC非加盟国の増産量はロシアのサハリンIプロジェクトや英国のバザードプロジェクトなど2ヶ月先には操業開始予定の計画などカスピ海、アフリカ、ブラジルの開発を加え供給増加数量は130万バレルと推算しており、20万バレルの不足を考慮している事にもあろう。

同機関は、WTIの年間平均価格推移は2004年41.4ドル、5年56.5ドル、6年66.1ドル、7年は65.2ドルで前年比1.4%下落するとの見通しとしている。

尚、13日にIEA(国際エネルギー機関)が発表した2007年の石油需要見通しは新興の高成長により6年比1.7%増加し、日量8,593万バレルとしている。

2. 在庫:

米国のプロパン在庫は、EIAによると12月8日時点の前一週間で穏やかな傾向と言える200万バレルの在庫が取り崩され6,680万バレル。昨年同時期に比べ、170万バレルほど低い。前週の在庫取り崩し、引き続き湾岸地域が多くを占め130万バレルに至った。このような同地域の在庫減少にもかかわらず、全米のプロパン在庫は当該期の平均の上限レベルにある。前週は他の地域の殆どが季節的な在庫出荷に留まり、東海岸は40万バレル、中西部は30万バレル、ロッキー山脈と西海岸は10万バレルの減少であった。プロピレンと非燃料用在庫は先週と変わらない350万バレルで全在庫に占める割合は先週の5%から僅かに高まり5.3%であった。

3. 価格:

EIAの週報によると、プロパン価格の家庭用は先週比僅かに上昇し、12月11日現在で米ガロン当たり197.8セントになった。昨年同時期に比べ2.2セント高い。卸売価格は106.5セントで前週比2.4セント逆に下がった。昨年同時期に比べ8.8セント低い。

4. 輸入

2006年の米国の海上輸入量は2005年の約550万トより約10%程減少になりそうだ。プロパ

ンはその内 56%を占め、ブタンは 37%、イソブタンが4%。ミックスは全体の 1-2%程度。輸入量を四半期別に昨年と比較すると第 1 四半期は約 30%減、第2と第3四半期は 20%増だが、第 4 四半期が 50%近く減少する見通しである。しかしながら、最大の海上輸入量を記録した 2005 年に次ぐ 2 番目の数字になることは明らかである。輸出量を含むネット輸入量でも 2006 年は同様に過去 2 番目に多い年になろう。

《中南米》

11 月上旬にパービン・アンド・ガーツ社ラテンアメリカセミナーがパナマの首都パナマシティで開催された。当センターも 4 年ぶりに参加した。アジアからの参加は当センターだけで「スエズ以西域中心」の会合であった。基調講演の要旨は以下のとおりであった。「中南米の需要は 2005 年で約 2,700 万トンを世界需要の 10%強を占めている。90 年代後半までは需要は高い成長率で推移し、2000 年では同地域は 600 万トンの純輸入国であったが、輸入必要量は経済成長の鈍化・停滞や価格高騰などの影響を受け、2005 年 200 万トンまで減少している。地域の 2 大消費国はブラジルとメキシコで約 1,700 万トンを占めている。域内輸出国はアルゼンチン、ベネズエラ、ボリビア、チリ等で、ブラジル、メキシコは輸入国である。需要の 70%以上は家庭業務用で、域内の需要は今後経済成長の回復に伴い、顕著な成長が見込まれ、2010 年には 3,300 万トンそして 2015 年には 3,500 万トンを超える予想がなされている。特にアルゼンチンやベネズエラ等の輸出能力は高まり、需要の回復を上回り、2009 年頃からは純輸出地域に転じ、2010 年には 300 万トン程度の輸出余力が期待される。」

当センターでは上記セミナーの参加ならびにアルゼンチンの輸出能力の最新情報調査を行い、今年度の調査結果として報告書を作成する。

③ LPGタンカーの運賃動向：2006年9&10月

【長期傭船費(12か月、冷凍船)(単位:千ドル/月)】

	9月末	10月末	11月末
75,000 - 78,000 m ³ 船(新型)	1,300	1,300	1,100
75,000 - 78,000 m ³ 船(旧型)	950	950	750
15,000 m ³ 船	750	750	750

【スポット運賃、\$/トン】(75,000-54,000 m³船型中心)

	9月	10月	11月
アラビア湾 → 極東(中国<安値>~日本<高値>)	38-42	26-31	28-30
アラビア湾 → 地中海	(35-40)	(33-35)	(28-30)
アラビア湾 → 北西ヨーロッパ	(45)	(38)	(30)
アラビア湾 → 米国(ガルフ)	(64)	(58)	(51)
アラビア湾 → インド(西岸)(20-40,000m ³)	50-60	50-55	50-55
ヤンブー(サウジ) → 極東(日本)	42-43	37	34
ヤンブー(サウジ) → 地中海	(28-35)	28-30	24-26
ヤンブー(サウジ) → 北西ヨーロッパ	(32-60)	(30-35)	(26-28)
ヤンブー(サウジ) → ブラジル	(44)	(42)	(38)
ヤンブー(サウジ) → 米国(ガルフ)	(50-55)	(52)	(50)
アルジェリア → 北西ヨーロッパ	25-35	25-28	(27-30)
アルジェリア → 米国(ガルフ)	38-40	33	29
アルジェリア → メキシコ	-	-	-
アルジェリア → 極東(中国~日本)	(58-63)	(53-55)	(48-50)
北海 → 極東(中国~日本)	(73-75)	(64-67)	(58)
北海 → 米国(ガルフ)	55	55	(50-54)
北海 → 北西ヨーロッパ	20-30	20-25	(25)
ナイジェリア → 極東(中国~日本)	-	-	-
ナイジェリア → 米国(ガルフ)	52-56	45-48	45-48
米国(ガルフ) → 極東(パナマ経由)	(70)	(65)	(59)
オーストラリア(南東部) → 極東(中国~日本)	40	38	30-32
ベネズエラ → 米国(ガルフ・東部)	30	28	27

【注:()内の数字はノミナル・レート(理論値)】

④ LPG価格動向(9月&10月)

スエズ以東	2006.10月(\$/トン)	2006.11月(\$/トン)	2006.12月(\$/トン)
プロパン:サウジアラムコ CP	480	450	480
ブタン :サウジアラムコ CP	485	470	495

欧州:プロパンスワップ先物市場価格(\$/トン、CFR 北西ヨーロッパ)

9月下旬時点: 11月:490-495, 12月:508-513

10月下旬時点: 12月:475-480, 1月:495-500

11月下旬時点: 1月:523-529, 2月:522-526

米州:モントベルビュー・スポット価格(セント/ガロン、カック内\$/mt 概数)

	9月後半	10月後半	11月後半
プロパン:	95(495)	90(469)	98(510)
ブタン:	112(506)	107(483)	113(510)
エタン:	63(462)	60(440)	60(440)

(換算係数¢/ガロン→\$/mt: プロパン5.213, ブタン4.520, エタン7.338)

【契約価格 FOB、\$/トン】

	プロパン			ブタン		
	9月	10月	11月	9月	10月	11月
サウジアラビア(CP)	563	480	450	560	485	470
北海(BPAP)orANSI	499.5	447	445	549.5	480	500
アルジェリア	517	455	448	535	472	469

(注)尚 BPAP は 10 月度から ANSI(Argus North Sea Index)を採用することに決定。

【月平均スポット価格 CFR、\$/トン】

	プロパン			ブタン		
	9月	10月	11月	9月	10月	11月
日本	538	481	503	538	487	516
ヨーロッパ(北西部)	507	473	486	537	520	494
米国(ガルフ)	520	482	490	509	482	481
中国(南部)	535	478	501	535	484	513

⑤ 海外・日本のLPG関連イベント(会議・展示会)

<u>イベント名</u>	<u>場所</u>	<u>日付</u>	<u>主催者</u>
Purvin & Gertz Inc. Latin America LPG Seminar	Panama City, ,Panama	2006年11月6-9日	Purvin & Gertz Inc.
LPG Trade 2006	Dubai, UAE	2006年11月14-15日	Centre for Management Technology
GASTECH 2006 (LNG, GTL 中心の商業&テクニカル)	アブダビ、UAE	2006年12月4-7日	GASTECH UK www.gastech.co.uk
LNG/Gas Contracts & Pricing	Kuala Lumpur , Malaysia	2006年12月11-15日	IBC Asia (S) Pte. Ltd
LP ガス国際セミナー2007	東京	2007年2月22-23日	エルピーガス振興センター
LPG2007 Conference & Exhibition	豪州クイーンズランド (サーファース・パラダイス)	2007年2月28日-3月2日	Australian LPG Association
Purvin & Gertz Inc. U.S.LPG Seminar	Houston	2007年3月5-8日	Purvin & Gertz
中国 LPG セミナー	中国	2007年3月第1or2週頃	広東油気商会

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目19番5号 虎ノ門一丁目森ビル



(注：尚 2006年4月号以降、郵送は都合により取りやめ、弊振興センターのHPへの掲載のみとなりましたこと、ご了承願います。)